

1. 件 名：原子力事業者防災訓練の意見交換

2. 日 時：令和元年11月27日 13:30～16:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室
 蔦澤防災専門職、川原防災専門職
京都大学複合原子力科学研究所
 中央管理室副室長

5. 要 旨

京都大学複合原子力科学研究所が令和元年11月5日に実施した原子力事業者防災訓練に対する当庁気付き事項及び事業者抽出課題について原因と対策への意見交換を行った。

主なものとして、以下のような意見があった。

- ・ 事態収束に向けた戦略情報についてCOPシートが活用されなかった
- ・ 重要性の高い情報が優先的に説明できていなかった
- ・ 事故収束対応に必要な資機材用消耗品の数量が明確でなかった
- ・ 発生した事象に対する進展予測が十分でなかった
- ・ ERCからの質問事項が管理されていないため、回答漏れがあった
- ・ FAX通報紙において、記載項目への記入漏れがあった、また昨年課題であった送信前のチェック体制が機能していなかった
- ・ 適時での避難対応の指示が失念され、避難報告が遅れた
- ・ 緊急対策本部での情報が現場対応本部に対して十分に共有されなかった

原子力規制庁より、これら意見を踏まえ、課題事項に対する原因について根本要因を明確にするとともにその対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

6. その他

配布資料：

資料－1 訓練課題対応資料